

5 福保子家第 5 9 2 号  
令和 5 年 6 月 1 日

公益社団法人日本産科婦人科学会  
理事長 木村 正 様

東京都福祉保健局長  
佐藤 智 秀

社会的適応の卵子凍結への支援の検討に関する状況調査について（情報提供）

平素より、東京都の福祉保健行政に御理解と御協力を賜りありがとうございます。

東京都では今年度、厚生労働省の「小児・AYA 世代のがん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業」の対象とならない未受精卵子の凍結・保存（病気そのものにより妊孕性が低下する女性に対して行う卵子凍結と健康な女性に対して行う卵子凍結のこと。本調査では、これらを合わせて「社会的適応の卵子凍結」と呼びます。）に対する支援として、「社会的適応の卵子凍結への支援に向けた調査」及び「凍結卵子を活用した生殖補助医療助成事業」を実施する予定です。

事業内容の検討にあたっては、各医療機関における卵子凍結に係る診療等の状況を把握した上でスキームの構築を行うことが必要と考えております。

つきましては、令和 5 年 5 月末時点で、生殖補助医療を実施する機関として日本産科婦人科学会に登録がある医療機関を対象に、別添「調査票」のとおり調査を依頼しますので、お知らせいたします。

**【問合せ先】**

東京都福祉保健局 少子社会対策部  
家庭支援課 助成担当

（電話）03-5320-4557

Mail:boshiiryousei@section.metro.tokyo.jp